

梅原の子

Umehara Elementary School
梅原小学校 学校だより
令和6年5月22日号

学び方のヒントは、すぐ自分の近くにある

校長 埴岡 靖司

ここに、1枚の写真があります。子どもの学ぶ姿に注目してください。

「教科書で学ぶお子さん」

「タブレットの教材で学ぶお子さん」

「先生と学ぶお子さん」

一人一人が、それぞれの学びをしています。これが今の教室の姿だと考えています。

このような姿は、学習時間の終わり頃になると、どの教室でも見られます。教室の中で、それぞれの学び方ができています。



自分にあった学び

「自分にあった学び方は、どのような学び方なのか。」この問いに自分自身で答えを出すことが、令和の学校の姿だと考えています。

先日、あるお子さんが、鳥を捕まえる装置を作ったと、校長室で見せてくれました。鳥が、開いた入り口に足を乗せると、支えていた棒が外れてゴムの力で入り口が閉じるという、ゴムの力を使った仕組みでできていました。どうしてその仕組みにしたのかを聞いてみると、インターネットで調べたと教えてくれました。

令和の学校では、「自分が知りたい、学びたい」という意欲が、学ぶ原動力になるでしょう。

学ぶ原動力

赴任して2ヶ月が過ぎようとしています。この2ヶ月で、梅原地区には、素敵な方々がいらっしゃることを実感しています。梅原音頭の先生やお米の先生、野菜の先生、イチゴ農家さん、学校の草を刈って環境を守ってくださる方、地域の畑でサツマイモや米作りの体験を進めてくださる方、ホタルを守る活動をしている方等々。

多くの頼りになる方々とともに、子どもも先生も、素敵な体験・経験をしてほしいと願っています。この素敵な体験・経験が、学ぶ原動力につながると考えているからです。

梅原小学校は、地域とともにあることをあらためて感じています。学校は、みなさんとともに、子どもにたくさんの体験・経験を積んで学ぶ場でありたいと思っています。



お知らせ

タブレットを家庭に持ち帰っての学習において、夜9時から翌朝6時半までの使用が制限されるように設定をしていますので、この時間帯の使用を控えるように、各家庭でお声がけください。機器によって、各家庭で設定されている場合は、上記の時間帯に変更していただけるとありがたいです。